

TENTACLES

隷嬢秋山凜子の蜜箱

This is "Rinko Akiyama"
"Taimanin_Yukikaze" fanbook
Presented by Garyuh_Chitai
2016 winter

ADULT ONLY...



TENTACLES

隷嬢秋山凛子の蜜箱



P04…はじめに

P05…TENTACLES 隷嬢秋山凛子の蜜箱

P42…あとがき・奥付

この作品はPCゲーム「対魔忍ユキカゼ」
シリーズの第一作目をベースに
ヨミハラの奴隷娼婦に堕ちた
凧子とゆきかぜの姿を描いた
二次創作です。





あつ はああつ♡
いい...っ おじさまの
チンポおっ♡

わたしのエロマンコ...
このチンポだけの
穴になってしまいたいそうっ

げははは そうじゃろう!
高い金で魔界医師にチンポ
改造させたんじゃ
元対魔忍じゃろうと
耐えられまい!

んほっ♡
んぢゆるっ♡

お前も欲しければ
もつとっしっかりクソ穴
舐めるんじゃ!

は はいっ♡
欲ヒいれすっ
おじんぼっ!

本来 殺される
ところをこうして
ワシらに買われて

斬鬼と言われた
女も完全にエロ
フタじゃなあ♪

肉便器になった
おかげで命拾い
したんじゃぞ?

もつと感謝せえよ

こ...心から感謝していますっ♡
ありがとうございますうっ♡

皆様のおかげで
本当の人生を知れ
ましたっ♡

女の幸せを
教えてもらえて
幸せですっ!

もつと もつと
エロフタマンコに
してくださいっ♡



ほお？ ワシみたいな
醜くて汚くて臭い男に
犯されるのが幸せか？

はいっし 幸せっ♡
臭い身体好きっ！
汚いチンポ好きっ♡

本当はこぎれいな
男がええんじやろ？
弟くんみたいなの

いやっ イヤ…
達郎なんか絶対
イヤあつ

おじさまのチンカス
チンポのほうが
好きっ！



そうか 彼は
ゆきかぜの恋人
じゃったなあ

ヤツのキスと
クソ穴しやぶり
どっちが好きじゃ？

そ そんなの…
オスクさいケツ穴
のほうに決まってる
よお…♡

あんな奴とのキス…
吐きそうになるから
思い出させないで…っ



すまんすまん
お詫びのキスじや
愛しとるぞ 凜子

ああ…私も
愛してますう…♡

んほっ♡んこっ♡
んちゆるうっ♡



イクぞ 淫売便器っ
どこに出す？ どこに
欲しいんじや？

か…顔にっ♡
顔じゆうをおじさまの
せーえきでマーキング
してっ♡

チンポのニオイ
ぶっかけてっ♡♡



ス豚控室



もおおおお
なんでいつつも
こうなのよー!!

せつかく本気で
奴隷堕ちできる
と思ったのに

なんで犯り終わると
くどくどタラタラ
余計なこと言って
冷めさせるのよ!

急にカッコ
つけんな!

早く
まがえなさい。



ポ・ポクと
幸せになって
くせさー!!

あんだけ「フタ」
だの「便器」だの
罵倒して
性欲丸出しの
最高なセックス
してるくせに

急にプロポーズ
とか説教とか聖人
気取りとか!

キミ
ハマモノニ
仕事にちゃ
ダメだよ。



『さっきの無し』
みたいなことして
台無しじゃん!



まあ…
よくあることだ

お客さまなあ!!

ああいうのを
上手く受け流すのも
仕事だろう?



そりや奴隷娼婦も
一年以上やってるから

快感にも屈辱にも
慣れてきてますけど
涼子先輩はちよっと
慣れ過ぎじゃありません?

あのエロい喘ぎ声とか
達郎全否定とか実は
演技なんじゃ

本気だよ。

ならいいですけど…

未練
ゼロ。

ごも



例えば『新人』との接し方

先輩のはただの慣れとは違う
まるでブライトを持っていてるようにすら見える



貴女たちが新人娼婦だね
私が教育係の秋山凜子 よろしく

いくら身体を改造されようとも
怯え傷ついた敗北者は心を閉ざす



先輩はそんな彼女たちと根気強く接し受け入れ 守り
立派な奴隷娼婦へと導いていく



いつしかみんな先輩を慕い
心と身体を開いていく

こんなの慣れだけで出来ることじゃない



リアル様

それに凜子さんが変えたのは先輩の心だけじゃない



『凜子さんのため』

過酷な仕事を頑張っている仲間の多くが
先輩への恩返し
の気持ちを抱いている
ことは間違いない



お誕生日
でしたよ
おめでと
う
おめでとうございます

お...おう?
あ...ありが
とう...?

何も仕掛け
なんてない
ですよ

たEの
自撮りAV
ですよ。

いまや自身を堕とした
張本人にも対等に話が
できる立場になっている

殺るときは
小細工無しで
いきますから♪



奴隷だとは
思えない凛々しさ

毎日のように過酷な
隷従を強いられ
糞尿以上の汚い
黒声を浴びせられても

いつも穏やかで
美しい

ただの娼婦ではなく
気品と淫靡さあふれる
花魁のような



そして私は
そんな先輩といつも
一緒にいられることが
誇らしい

どうした?
急に

なんでもない
です♪

だけど、凜子先輩と一番近くにいるのは私ではない

AM
02:14

自室に帰ると先輩の雰囲気はがらっと変わる

二度目のシャワーを浴び、丁寧に髪を梳いて

魔界医師の調合する淫薬オーションを素肌になじませる

姉嬢のときより丁寧じゃありません？

はは、そうかもね

なんで「彼」に会う時だけそれをつけるんですか

どうせ――

『どうせ体内に染みついたドレイクのせいで普段から淫臭が垂れ流しになっているのに』

だろう？

まあ……気分の問題だよ

できるだけ濃厚なメス豚臭で彼のチンポを欲情させたいんだ

彼のキンタマ精液を少しでも多く味わいたい

客のニオイや味……かすかな名残すら消し去って

全身で彼のチンポに発情したいから

なんて健気な

教えてください
涼子さん

どうして彼の
ことが そんなに
好きなんですか

「彼」は
いや「それ」は

人ではないのに。

それは
巨大な肉壁

このガラス部屋は
淫欲あふれる蜜箱

おまたせ



いえっ
大丈夫です!

おともします!



仕事のあとで
疲れもあるだろう

休みたくなったら
遠慮なく部屋に
戻るんだよ



そう
じゃあ…

こゆっくり♡



その一言で先輩の
意識は完全に彼に
向いた

もう私がいようが
いまいが関係ない

今日だけじゃない
いつもそうだから
分かっている

もう
慣れている





『愛の』
てはなご

ああ…んっ♡
こら…焦らすな…

バカ…そ そうじゃ…
なくてっ ああっ♡
もう…もう…っ♡

は 早く入れろっ♡
お…奥までグチャ
グチャに犯せえっ!

優しく愛無し
じらして 昂らせ
激しく犯す
そう 彼は—

あああ
っ!

あああっ♡これっ♡
チンポ触手うっ!

マンコの中で…
吸いついてっ!
暴れてるっ♡

先輩に調教
されている
さ



この触壁は かつて
先輩がいき殺され
そうになった相手

あの強い先輩が泣き
わめき完全屈服した

あの素敵な映像を何度
見返したことだろう

もっ♡もっ♡
便器マンコにチンポ
ハマてええっ!

素敵っ♡
最高おっ!

憧れの先輩の
あんな姿…

興奮で身体中が
一気に燃え上がる

なんて無様で
いやらしくて
素敵なんだよ…

幻滅とごころが
ますます懂れて
しまつ

く…ああつ
気持ち悪い…っ！

やめ…ろおつ
くそっ こんなものに
負けるものか…っ！

ググッ！

ポコッ
ポコッ

ググッ！ググッ！

ググッ
ググッ

た 対魔忍の誇りに
かけて 絶対に…
うあああつ！

んああつ ふ
太いっ やめ…
子宮…壊れるうっ！

射精…もう…
やめろ…やめ…
やめてえっ！

ひっ…ああ…やめ…
てえ…たしゆけ…て…

お…おほっ んほ
もう イキ…たく
な…ひい…っ

ググッ

ああおおっ
あひ…っ もう
もう許してええっ！

なる…なりますっ
リアル様の奴隷にっ
肉便器になりますうっ！

あ…お…お…
マンコ…マンコ
イクのとめてえっ

ズズッ！

ポコッ

ポコッ

ポコッ

んほおおっ
いぐいぐいぐううっ

ググッ



あつ♥んああつ♥
あああ—ツツ!

イク…イクっ♥
マンコイクくううっ!

チンポチンポチンポおおっ♥♥
触手チンポれいぐうううっ♥♥



あ…あは…も…
もう…たいまにん…
どうでも…いれす…♥

わたひ…もう…
ちんぽべんきい…っ♥

あああ…ちんぽ…♥
まんこ…♥
ひ…
ひあわへ…え…♥

そんな先輩が
今では

あんな性欲の
塊を支配している

つまりそれは
この肉壁と

数えきれないほどの
交尾を重ねて心を
通わせてきたと
いつこと

あ
あ
あ

ふふほら
こっちも...♡
ケツ穴のニオイ
好きなんだろう？

あは...身体中の
キンタマ袋がパンパン
じゃないか♡

いいよ 私も
アナルセックス
大好きだから

さあ...このエロフタ
ケツマンコにその
キンタマ精液...
全部排泄して
くれ...♡

え...遠慮するな...♡
もつと奥まで...えぐって!
えぐってえっ♡♡♡

んあ...あああつ!!

言葉ではなく
身体で理解し合って
意思と快楽を
伝え合い

分かる？ 今日
客にもケツまんこ
使わせなかつたんだ

今日のケツ穴っ
全部っ 全部
お前のものだからっ

壊れるくらい
犯していいからあつ

まるで同化して
いるかのよう

おぐっ
んおおおっ！

んほっ

んぐお

ひっ

おどいっ

んあああつ
抜けるううっ

イヤ 抜くな
抜かないでっ！

おホおおお
おっツ

ああっ クるっ…♡
ケツ奥までグリグリ
くるうっ♡

コレ…人間じゃ
出来ない…！
ぶつといチンポ
せつくすううっ♡

ああ…か かオ…
全部…マンコ穴あ
…っ♡

ああ…ゆきかぜが
見えるの…！

ゆきかぜ…ああ…
見て…っ♡

ケツ穴の音
聞いてええっ！

あはっ ゆき…かぜっ
すこい…だろ…っ♡
マンコもケツ穴も
拡がって…

今っ 今からココに
射精されるんだっ♡

今から全部…エロ穴全部
せーえき便所になるのっ♡



イツ〜♡♡♡

ゴッ♡

ゴッ♡

ゴッ♡

ゴッ♡

ゴッ♡

ゴッ♡



おホおおっ♡
おこっ♡んおっ♡
おえええっ!

んひいつ♡おな…
か…ああっ!
しゅこ…らいつ♡

わたひっ♡キンタマっ♡
お腹がキンタマ袋に
なってるううっ♡♡♡

先輩っ 見てますっ♡
私 全部見てますっ♡

フタマンコもっ
変態ケツまんこもっ♡

先輩もっで見せてっ
お腹のキンタマ
汁っっ!

ズルルッ

ガクガク

アッアッ

プリプリひり出す
ところを見せて
ください!

ううれヒいっ!
見て 見てっ♡
この淫乱ウンコ穴
から射精するところ
見てええっ!

あっ!
ああっ♡

オホッ

イクっ♡
イクううっ!

アッ



ああ…初めて
見るこんな先輩
下品で無様で最低
なのに…素敵すぎて
心臓が張り裂けそう

それ以上にここでは
私の事なんて眼中に
ないと思っていたのに

逆に私の視線で
イってくれた…

それがたまらなく
嬉しい…

分かる？
ゆきかぜ
今日は彼もお前を
いつも以上に
意識しているよ

えっ 彼も…？

ああ さっきの射精量も
今までにないほどだったし
あそこまで見せつけるのも
初めてだった

お前の視線に何かを
感じているんじゃないかな

なんだか
『いいところ』を見せ
たがっているみたい

だから今日は私ももっと張り切ってみよう

ゆきかぜもう少し付き合ってくれるかな

あ…アしは…

飲み込まれている間私は何も見えない

だからゆきかぜ全身マンコになった私をしっかりと

身体中からスケベ汁垂れ流してイキ狂う姿を…

心に焼き付けてくれ♥





んほっ！



んっ…っ♡
んむっ♡



あ…んっ♡
んふ…♡
んっ…っ♡



でも、コシだけは
いまだに怖い

すごい…なんて
そこまで出来るん
だっ！
私も奴隷娼婦になって
客の求める凌辱には
ほとんど耐性が出来た



どんなに鍛え上げた
対魔忍の身体でも
半身を吞まれると
抵抗などできない
彼の気まぐれで少し
捻じあげられただけで
首は折れ、内臓も
グチャグチャになる

んお…っ♡
んおおお…っ♡

んぐううっ！
ひぐっ♡んむっ！

おほおおっ♡♡
んほっ♡んもおっ♡

それでも先輩は
感じている

全身の肌で触手の
体液を吸って飲んで
犯されている

あああつ!
おぶううつ♡

ひっ ひいつ♡
あへ…えへっ!

あ—っ♡
あ—っ♡

人間の取り繕った
言葉も常識もない

限界すらない
肉と肉の快楽

ただスリルを
楽しんでいるわけ
じゃない

あああつ♡
ひいつ!

きじいつ!
いじいつ♡

彼らの間に
あるものは—

信頼…なのかな

異形の愛人に
全てをゆだねる
命がけの癒し

うあおつ♡

あんっ♡
おっほおつ!

強者だけが夢見る
無力感という禁断の
娯楽

秋山凜子という
人の本性は

命を懸ける危機感
生き残る充足感
きつとそれが生の根幹

先輩にとって対魔忍は
使命感よりも

それを感じられる手段
だったのかもしれない

だから先輩は
娼婦に墮ちても
揺らがない

プライドを持っている
ように見えるのは

己の誇り高き被虐性を
満たせる別の手段を見つ
けたからなのか

そんな先輩を
満たせる人間は
いるだろうか

受け容れ 癒せる
蜜箱を持つ者
なんて誰も

そんなことない!

いせ



私だつて

んホおおオおお
つツ♡♡♡



先輩♡♡
凜子先輩♡♡

会話できなくても
私にも伝わってます

私だつて…肌で
先輩を理解したい

愛したいんです♡

んちゅ♡♡
んぶ♡♡

んちゅる♡♡

んこっ♡
んぶうっ!
ゆヒかへ…♡
ゆひはへええっ!

私先輩がどれだけケツ穴が好きなのか誰よりも知っています♥

ブタ声で喘いでも悦んでること全部理解しています♥

もつとですよね？もつとプリプリ下品な音たててクソ穴犯して欲しいんでしょ？

ウンコするたびにイッチャうようなド変態ケツ穴奴隷になりたいんでしょ♥

おおーッ♥
んおーッ♥

あっ♥
ひゅっ♥

ほらほらほら♥ちよつと叩いただけで腰が跳ね上がって♥

マゾケツの肉ブツ叩いて欲しいんですか？

んひ♥
ひいつ♥

イカせて欲しければもつとフビフビ鳴きなさいっ！

う…ぶっ♥
フビっ♥

んぶうっっ♥
フヒいっっ♥
ぶひいっっ！

んぶうううっ♥
んヒっ フひいっ♥



了解しました♥



ゴッゴッ
ゴッゴッ
ゴッゴッ

ゴッゴッ
ゴッゴッ
ゴッゴッ

ぐっポオオおおオ
おおオ—
つ♥♥♥

ガク
ガク

ガク
ガク

ゴッゴッ
ゴッゴッ
ゴッゴッ



はあ...はあ...
はあ...はあ...

あ...あ...♡

はあ...はあ...♡
はあ...はあ...♡

はあ...ああ...
ゆき...か...ぜえ...♡

ド

サ

サ

はー

はー

はー

はー



先輩…
大丈夫ですか

は
は
ゆき…かぜ…



ああの
勝手に入ってきて
ごめんなさい

それにちよつと
雰囲気飲まれて
調子にのっちゃった
というか…



ううん…いいんだ

むしろ 持ってた…
ずっと…



彼の身体…
チンポ
今日は今までで
一番すごいよ

見て
ゆきかせ



射精し続けている
姿を見せつけるかの
ように
今の私にはそれが
人よりもヒトらしく
雄よりもオスらしく
見えた

ブルブルと
全身を震わせて
触手の先までが
快楽の余韻に
浸っている

ドッ!
ドッ!
ドッ!

ドッ!
ドッ!
ドッ!

ドッ!
ドッ!

これは…





……
……
……
言った通りだろう？

『どうして彼のことがそんなに好きなんですか』



正確には『隠せない』
なんだろうけどね

何も隠さないから
かな



人間の男たちと
違って
私に向ける愛欲……
純粹無垢な性欲が

一片のウソも虚飾もなく
むき出しなところに
安堵感を覚えるんだよ



確かに…肉体全てが
快楽をむき出し
にしているような…

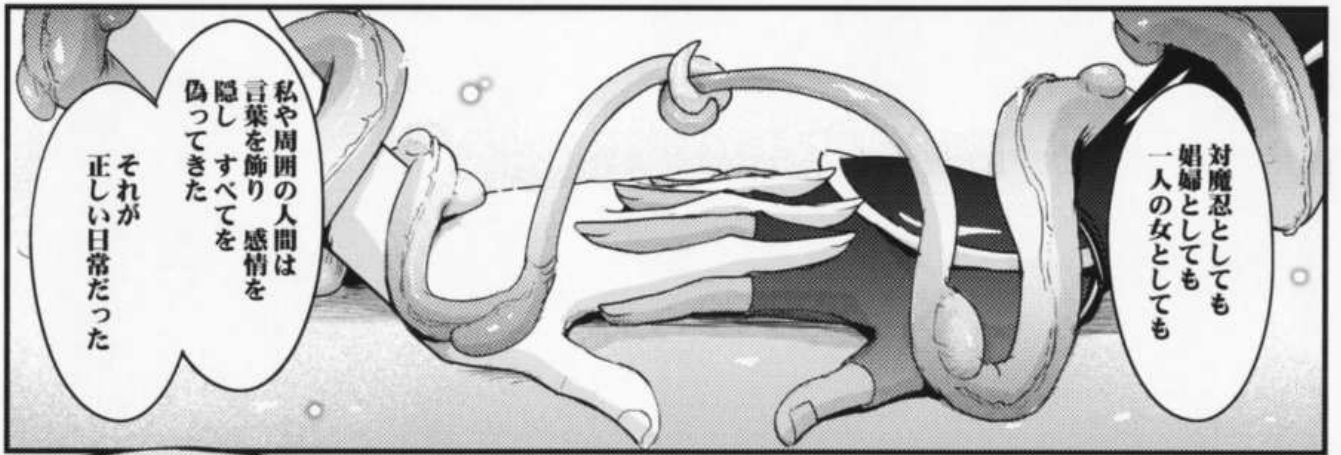
まるで身体から
神経を引きずり出して
肉塊にしたような感じ
だろうか？

ニチャ

ニチャ

ズル

ズル



対魔忍としても
娼婦としても
一人の女としても

私や周囲の人間は
言葉飾り 感情を
隠し すべてを
偽ってきた

それが
正しい日常だった



お前は

どちらかという
と 彼に近いような
気がしたから…かな

へ？



じゃあ なんて
私がかこへ入る
ことを…？

待ってた…って



でも 私は自分の
本性を知った

自分の安らげる場所は
この無垢で原始的な
存在の中だと

ここは唯一
疲れた心が裸に
なれる部屋



特に…私に対しては
無防備すぎるほどだ
昔から…出会った
頃からずっとね

『原始的』ってわけ
じゃないが…
誰よりも隠し事を
出来ないタイプ
だろう？



決定的だったのは
あの肉体改造を
受けたときだ

く…ああ 耐えろ…
ゆきかぜ…っ！
こんな薬なんかで
イクなど…い…く
なん…て…あああっ♡

あっ や…だっ♡
ああ もう…
イクたくないっ♡

お前は私がイクたびに
うっとりとした目で
見ていた
最初は薬のせいかと
思ったが、だんだん
はつきりと伝わって
きて…

先輩…っああ…
イク…私また…っ♡



く…ううっ
ゆき…かぜ…っ

周囲のやつよりも お前
一人に見られているほうが
恥ずかしかったし
すく…
感じていた

あ…
あ…

もしかしたら昔から私がお前の世話を焼いたり

対魔忍としていつも共に戦い

娼婦になっても堂々としていられたのは

ただ単純に いつもキラキラしてるお前に尊敬されたかった

そしていつか誰よりも幻滅されて罵られ 犯されたい

そんなエゴだったのかも かもしれない



それなのに お前の気持ちに 感づいていながら

自分から踏み出せず こんな場所に 連れてきて

そしらぬふりで お前が踏み出して くれるのを待った



ズルい女で ごめん

来てくれて ありがとう

裸にしてくれて ありがとう



これからも一緒に
先輩を変態クソ穴
便女に唾として

一緒に
犯しまくって



こちらこそ
ありがとうございます
ございませす
先輩と『彼』に
感謝しなきゃ



彼が
いなかったら
私も踏み出せ
なかつたから



よろしくね



一緒に
護っていきっか



あはっ けっこう
いいコンビ？

ウソつけない者同士
なんか通じあつてる
かも♪

これなら 私も
いつか丸のみセックス
とまできちやうかも

ぐっ!



敵を射抜く不敵な笑み
 奴隷娼婦の媚びた笑み

誇り高い女としての
 凛とした微笑

ちよつとにじんだ
 視界に映るのは

私が愛した
 そのどれでもない

秋山凜子という

無垢な少女の
素顔だった。
。




あとがき

ずっと描きたかった凜子本がなんとか完成しました。感無量。
思えば対魔忍ユキカゼの第一作が発売されたのが2011年。
もう5年前になるのですね。あっという間だったなー。

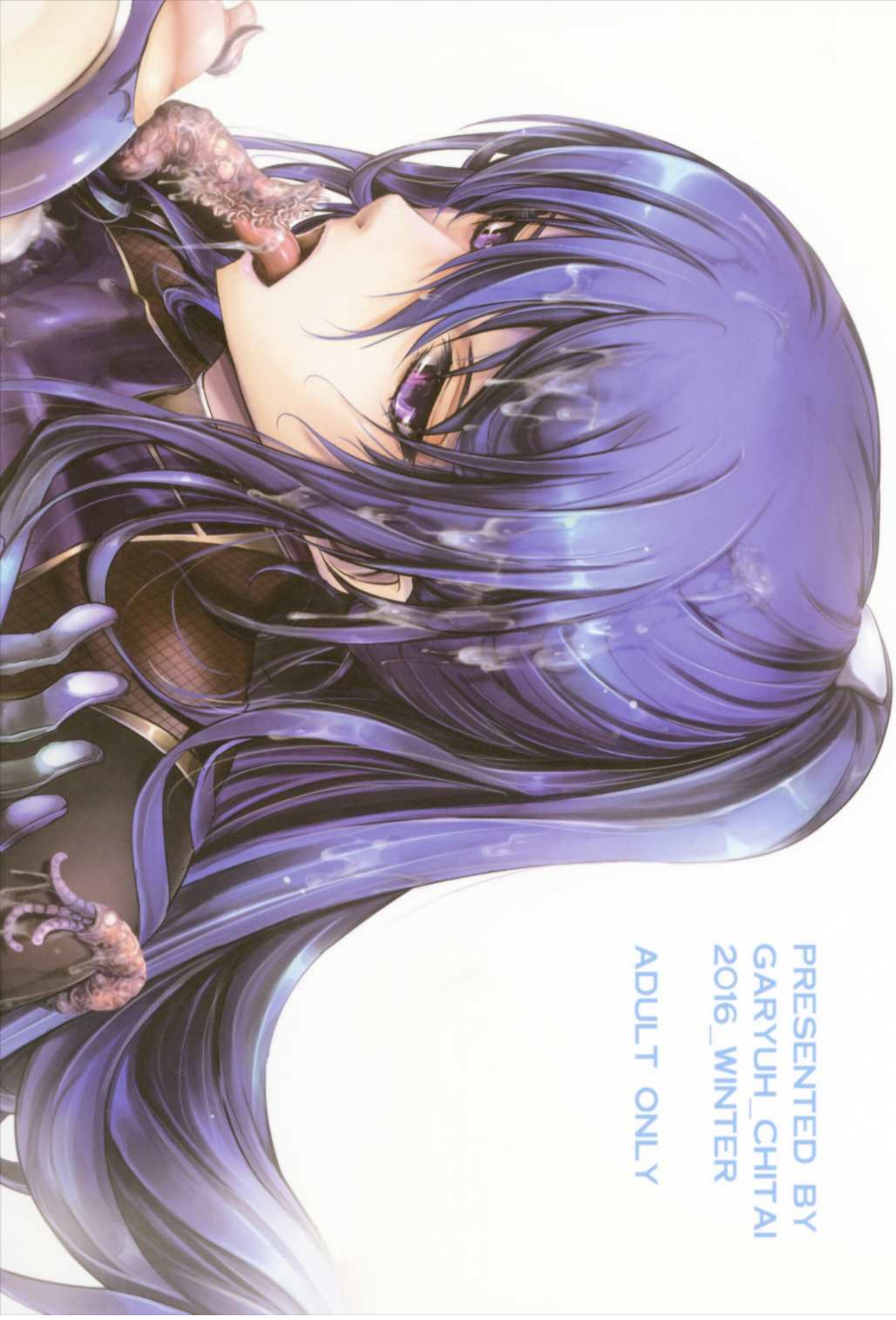
最初のプロットではゆきかぜがここまで出る予定では
無かったのですが、描いてるうちにゆきかぜも好きに
なってきた、結局二人のラブラブストーリーになりました。
もともと公式設定でも凜子とゆきかぜ大好き同士ですし。
触手との絡みも含め、楽しく描けました。

原作未プレイの方はぜひ、遊んでみてください、
この本のシチュエーションがより楽しめるかと思います。



ゆきかぜメインの本も
描きたくなってみたり…。
ちっばいを描く楽しみに
覚醒しそうです。

では、また。



PRESENTED BY
GARYUJI_CHITAI
2016_WINTER
ADULT ONLY